

平成29年11月20日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市行政経営推進審議会
会長 山崎 克明

嘉麻市行政改革実施計画の実施状況（結果）、行政評価及び公共施設の見直し計画について（答申）

平成29年8月28日付けで貴職から諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議を行った結果に基づき、下記のとおり答申いたします。

記

1. 平成28年度行政改革実施状況について

嘉麻市では、合併当初の危機的財政状況を打破するため、平成18年度から平成22年度までの5ヵ年間で、全140項目にわたる厳しい第1次行政改革に、また、引き続き平成23年度から平成27年度までの5ヵ年間で、全41項目にわたる第2次行政改革に取り組み、一定の成果を得ました。

現在は、平成28年3月に策定された第3次行政改革大綱及び第3次行政改革実施計画に基づき、平成28年度から平成32年度までの5ヵ年間で「収支不足による市民サービスへの重大な影響の回避」を基本目標として、さらなる行政改革の取組が進められているところです。

今年度の審議会では、第3次行政改革実施計画の初年に当たる平成28年度の実施状況について諮問を受け、確実な行政改革の実行について、各項目の進捗状況はもちろん、今後の取組のあり方なども含め、総合的に審議を行ってきたところです。

審議過程においては、必要に応じて所管課に係る資料の提出等を求めながら議論を重ねてまいりました。

その結果、平成28年度の実施状況については、全項目において進捗状況が「予定以上」又は「ほぼ予定どおり」であり、その効果額においても、目標値の237,243千円を71,191千円上回る308,434千円の実績をあげるなど、審議会

としても一定の評価をするところです。

しかしながら、地方交付税の合併算定の段階的縮減や人口減少に伴う税収の減少などにより、今後さらなる厳しい財政状況が見込まれる中、嘉麻市が自立した自治体として確固たる行財政基盤を構築するためには、限られた行政資源を効率的かつ集中的に運用するとともに、事業の見直しや改善を積み重ねるなどの不断の努力により、さらなる行政改革に取り組んでいくことが肝要です。

したがって、審議会としては、本年度以降についても、引き続き一定の成果を求めるとともに、将来の世代に過度の負担を残さないよう、行政改革の取組を継続されることを求めます。

また、審議会としても、今後の市の取組の一助となるべく、行政改革に取り組むうえで留意すべき事項等を取りまとめましたので、今後の取組に活かされることを強く要請します。

最後に、市長はじめ職員の皆様には、自治体経営の責任者・担当者として、嘉麻市の経営に取り組んでいただくことを強く求めます。

審議会意見

【総括的意見】

■ 実施状況の記載内容について

実施状況の記載内容について、取り組んできた実績等が分かりづらいものが多く、取り組み状況に記載されている内容を見るだけでは、進捗状況区分が妥当であるとは判断しづらい項目がいくつか見受けられました。所管課が取り組んだ内容等を詳細に記載し、目標に対しどのような取組を行い、どの程度進捗しているのかを明確にしたうえで進捗管理を行っていくよう要望します。

また、進捗状況区分についても、既に全体目標を達成している実施項目については「完了」とするなど、現在の進捗状況区分「予定どおり」、「ほぼ予定どおり」、「遅延」、「未着手」の内容を見直すべきであると考えます。

【個別事項に対する意見】

■ No24 敬老事業の見直し

平成28年度においては、近隣自治体の状況調査を実施し、現行の敬老事業の見直しについて検討を行っている点について、審議会としては評価するところです。

地域の高齢化が進んでいることから、行政区などの小さな単位で敬老事業を運営していくことが次第に困難になっているのが現状です。今後さらに進んでいく高齢化に鑑み、敬老事業の在り方について早急に検討することを求めます。

■ No 49 職場における男女共同参画意識の徹底

嘉麻市職員の管理職女性登用率が24.7%、係長級女性登用率が37.5%という点については、かなりの努力が見られ、審議会として評価するところです。

現在、女性市議会議員がいないということですが、市の審議会や委員会への女性市民の積極的登用を進め、また、市役所の職場内で率先して男女共同参画を推進することなどにより、今後男女共同参画意識が地域活動でも高まれば、市議会議員になる女性も現れ、市政への女性の意見も反映できるものと考えます。

引き続き、職場における男女共同参画意識を高めるような職場環境の整備を行っていくよう要望します。

■ No 51 自主防災組織の組織率の向上

自主防災組織の設立促進について、設立後に組織が形骸化しないように、市民への説明に時間を要している点は、理解できます。

しかしながら、最近の異常気象を考えると、突然九州北部豪雨のような自然災害に巻き込まれる可能性もあるため、予防訓練などの具体的な取組と組織づくりを並行して行い、まずは市民の自主防災意識を高めていくよう早急に対応することを求めます。

実際に訓練を行うことによって、市民も自ら危機感を持ち、日頃からの自主防災の意識を高めていくことにもつながると考えます。

2. 平成28年度行政評価について

嘉麻市では、平成20年度の行政評価制度試行後、翌年度より制度の本格的な導入を図ってきたところです。

平成22年度からは嘉麻市外部評価委員会を設置し、また、昨年度は嘉麻市行政経営推進審議会において、外部の視点から事務事業評価の検証を行ってきました。

今年度についても、嘉麻市行政経営推進審議会において平成28年度行政評価の検証評価について諮問を受け、審議を行ってきたところです。

所管課が行った内部評価について、市長をはじめとする職員で組織する行政経営推進本部において行った二次評価の結果に関し、「二次評価が正しく行われているか」また「二次評価後の事務事業評価表は、妥当な内容となっているか」に重点を置き、様々な角度から意見を述べ、議論を重ねてまいりました。

その結果、審議会としては、次のような評価を行いました。

審議会意見

二次評価については、各事業の内容及び所管課の評価内容を十分に検討したうえで評価されており、審議会としてはその評価が正しく行われているものと評価します。

今後においても、幹部職員が二次評価を行うことにより、各事業に関し、限られた行政資源をより効率的かつ集中的に運用し、よりよい事業の見直しや改善ができるものと考えます。

また、審議会としても、補足的な意見をいくつか取りまとめましたので、今後の取組に活かされることを強く要請します。

■ 災害対策事業

二次評価結果にもあるように、日常から市民の防災意識を高めることが非常に重要です。

マニュアルがあっても、災害に直面するとマニュアルどおりにいかないことが多いため、避難訓練などを積極的に実施し、特に河川付近や傾斜地など危険度の高い地域には、市から重点的に働きかけていくべきであると考えます。

また、防災に関する積極的な取組を行っていくためには、職員の配置も含めて、十分な体制を確立する必要があります。

■ 自立相談支援事業

生活困窮者が抱えている問題には様々な要因が複雑に絡んでいるため、自立相談支援については、生活自立支援と就労自立支援を抱き合わせ、それぞれの家庭に少し踏み込むような形で、よりきめ細かい事業計画を立てて支援を行っていくべきであると考えます。

3. 公共施設見直し計画について

今回諮問を受けた「公共施設見直し計画(案)」については、財政効果はもちろん、人口減少、施設の老朽化や設置数の他団体との比較、施設見直し経費に対する財源などの視点から、基本的に施設の削減を目標とするものであり、審議会としても慎重に審議した結果、本計画(案)は妥当であると判断します。

しかしながら、市町村合併を経たことにより市の公共施設設置数が人口規模等に比して多くなっているといった状況や、施設の老朽度・耐震性については、合併時から当然に課題化し、取り組むべきであったと考えます。

今後の個別施設見直し計画の策定に当たっては、各施設一つひとつについて、施設の老朽度・耐震性、利用状況、他団体との比較による適正設置数、経常的な管理経費の状況、今後見込まれる改修費など、総合的内容を踏まえたうえで、見直しの方向性を検討することを求めるとともに、全体的には早期の削減目標の達成を強く要請いたします。

なお、具体的な見直し内容については、市民の理解が得にくい場合も想定されますが、一方で、より一層の厳しい財政状況が見込まれますので、強い意志で取り組んで

いただくとともに、施設の管理主体を地域住民で担っていただくといった選択肢を検討するなど、様々なアイデアや工夫により、推進することが必要と考えます。

また、本計画（案）で対象外となっている施設の今後の方向性についても、本計画（案）の実施と併せて、検討の着手を求めるものです。

4. 審査の経過について

平成29年8月28日から6回にわたり、次のとおり審議を行いました。

| 回 | 開催日時 | 開催場所 | 審査の概要 |
|---|--------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 8月28日 | 嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室3 | <ul style="list-style-type: none">・委嘱書交付・諮問・審議会日程の確認・第3次行政改革平成28年度実施状況の審議 |
| 2 | 9月25日 | 嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室3 | <ul style="list-style-type: none">・第3次行政改革平成28年度実施状況の審議・外部評価実施方法の概要説明 |
| 3 | 10月11日 | 碓井住民センター 大ホール | <ul style="list-style-type: none">・第3次行政改革平成28年度実施状況の審議・外部評価の実施 |
| 4 | 10月27日 | 嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室3 | <ul style="list-style-type: none">・公共施設等の見直し計画の審議・答申書案の審議 |
| 5 | 11月6日 | 嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室3 | <ul style="list-style-type: none">・公共施設等の見直し計画の審議・答申書案の審議 |
| 6 | 11月20日 | 嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室2 | <ul style="list-style-type: none">・答申書案の審議・答申書の提出 |

5. 嘉麻市行政経営推進審議会委員名簿

| 氏 名 | 肩書等 |
|------------------|------------------|
| (会長) 山 崎 克 明 | 北九州市立大学名誉教授 |
| (副会長) 松 岡 光 昭 | 嘉麻商工会議所 |
| 吉 岡 滋 樹 | 九州北部税理士会飯塚支部税理士 |
| 芳 司 修 治 | 福岡銀行稲築支店長 |
| 吉 安 勝 行 | 嘉麻市誘致企業振興会会長 |
| 村 上 曙 生 | 嘉麻市行政区長連合会代表者会会長 |
| 大 森 成 順 | 嘉麻市民生委員・児童委員 |
| 上 野 美 智 子 | 男女共同推進ネットワーク会員 |
| 川 原 幸 二 | 公募委員 |
| 富 崎 静 江 | 公募委員 |
| 西 村 光 昭 | 公募委員 |
| 松 田 クニ子 | 公募委員 |

※任期：平成28年8月1日～平成30年7月31日